

相模原商工会議所 景気観測調査結果

(令和5年7月～9月)

全般的には景況の回復は進んできているが、人手不足などの課題も残る。製造業では円高等によるコスト上昇の影響でやや悪化した。次期に向けては改善の見通しである。

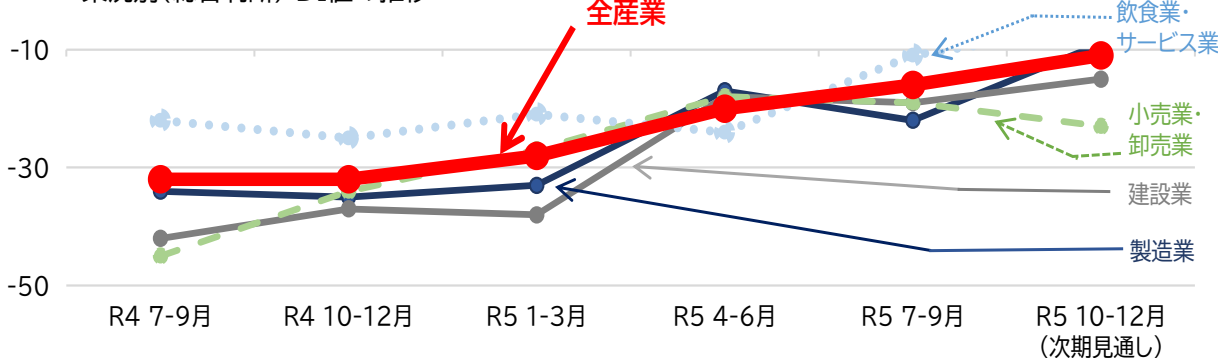
ポイント

- ▶ 令和5年7月～9月期の総合業況DIは▲16と、前期▲20から4ポイントの改善であった。飲食業・サービス業(前期▲24・今期▲11)が前期に引き続き改善が続いている。小売業・卸売業(前期▲18・今期▲19)と建設業(前期▲18・今期▲19)は、前期からほぼ変わらず。製造業(前期▲17・今期▲22)は、前期からやや悪化している。
- ▶ コメントによると、小売業やサービス業を中心に、好況のコメントが増えてきている。一方で、再度円安が進んだことによるコスト上昇の影響は全産業で大きく、一部の企業で投資を先延ばしする動きが出てきているようである。人手不足が受注増の足かせになっている事業者も見られる。
- ▶ 次期見通しについては、総合業況DIは▲11と、今期▲16から5ポイントの改善の見込み。飲食業・サービス業(今期▲11・次期▲6)は引き続き改善の見込み。製造業(今期▲22・次期▲9)は大幅な改善が期待される。建設業(今期▲19・次期▲15)は若干の改善、小売業・卸売業(今期▲19・次期▲23)は、やや悪化する予想である。

各業界から寄せられたコメント

- ・【畳製作】コロナ規制も無くなり個人客が戻りはじめた。さらに神奈川payも始まり、予約も好調。しかしながらお客様の単価は低いまま。材料、エネルギーコストの上昇が厳しい。神奈川payの入金が二ヶ月もかかるので、資金繰りが大変。
- ・【造園・土木】物価上昇、残業時間削減問題(働き方改革)。
- ・【健康食品】輸出が好調。
- ・【サービス業】ゴルフ需要は旺盛で繁忙感が強まっているが、一方で天候不順の影響や人員不足で来場者数の増減に対応できていない部分があり、機会ロスが発生。

業況別(総合判断) DI値の推移



	前年同期概要 (R4.7-9)	前々期概況 (R5.1-3)	前期概況 (R5.4-6)	今期概況 (R5.7-9)	次期見通し (R5.10-12)
製 造 業	▲ 34	▲ 33	▲ 17	▲ 22	▲ 9
建 設 業	▲ 42	▲ 38	▲ 18	▲ 19	▲ 15
小 売 業	▲ 45	▲ 27	▲ 18	▲ 19	▲ 23
卸 売 業	▲ 45	▲ 27	▲ 18	▲ 19	▲ 23
飲 食 業	▲ 22	▲ 21	▲ 24	▲ 11	▲ 6
サ ー ビ ス 業	▲ 22	▲ 21	▲ 24	▲ 11	▲ 6
全 (総 合)	▲ 32	▲ 28	▲ 20	▲ 16	▲ 11

業況天気図凡例				
CI値 30以上	CI値 20～29	CI値 10～19	CI値 0～9	CI値 -10以下

調 査 期 間 : 令和5年7月1日～9月30日

回 答 率 : 18.0%

回 答 者 数 : 667件

調 査 対 象 : 当所会員事業所3,711事業所

<<景気観測調査>>

前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。
「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。